

国見町議会を対象に「流域治水に関する事業説明会」を実施

開催目的・概要

- 流域治水の取組へのさらなる理解・親しみを持っていただくため、住民の代表である市町村議会議員を対象に、国・県による事業説明会を実施。郡山市・本宮市・桑折町・伊達市・大玉村に続き、国見町で6自治体目。
- 事業説明（座学）では、「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」と題し、河道掘削や上流遊水地群整備の状況とともに阿武隈川流域の流域治水の取り組みについて説明。現地視察では、上流遊水地群整備地を視察し、3町村とも交流。

日時・対象

- 日 時：令和6年9月24日（火）13：30～14：30（事業説明）、14：45～15：45（現地視察）
- 場 所：鏡石町健康福祉センター「ほがらかん」1F 多目的室まきばホール（事業説明会）、上流遊水地群整備地（鏡石・矢吹・玉川）
- 参加人数：国見町議会議員10名、国見町職員4名
- 報道機関：河北新報社、福島民報社

実施状況

- 参加された議員の方のコメント
 - ・令和元年東日本台風で浸水したところが遊水地になるのか。
 - ・河道掘削の発生土はどこに持っていくのか。

▶座学実施状況



▶第一遊水地の説明



▶矢吹町副町長のご挨拶



▶第二遊水地での説明

